



「子供の尊い命を守り、無限の可能性を伸ばす」陣屋小学校

陣屋小だより

学校教育目標
かしこく
やさしく
たくましく

令和5年10月2日
第6号

埼玉県学力・学習状況調査の結果について

校長 保戸田雅之

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、お彼岸を過ぎると同時に少し涼しくなってきました。朝晩の温度変化が大きい季節です。

学校では、まもなく運動会の練習が始まります。教室や音楽室からは早くも「運動会の歌」の元気な歌声が聞こえてくるようになりました。体調管理を徹底して本番を迎えられるよう、ご協力をお願いいたします。

さて、先週末、4年生以上のご家庭には、5月に行われた埼玉県学力学習状況調査の個票（6年生は全国学力調査の個票も）を配付しました。そこで、県学力調査の全体的な傾向をお知らせしたいと思います。

【表1】各学年教科別平均正答率の比較

【表2】学力を伸ばした児童の割合

【表1】は、国語・算数の平均正答率を埼玉県・新座市と比較したものです。どの学年も県・市の平均を下回る結果でした。

【表2】は、学力を伸ばした児童の割合を県・市と比較したものです。数字が大きいほど1年間で学力が伸びたこととなります。6年生の国語は県・市の数値を上回りましたが他は同等か下回る結果でした。

さらに内容を見てみると、下記のような傾向が分かりました。

【国語の弱点】

- ・文章の内容をとらえる（読み取ること）
- ・文章の構成をとらえる（作文の技能）

文章の内容を読み取ることや、文章の構成を考える力は、読書量の影響が大きいと言えます。読書で多くの文章に触れること、自分

の考えを読み手に伝わるように書く機会を増やす必要があると改めて感じました。

【算数の弱点】

- ・グラフや表を読み取ること
- ・二つの数量の関係を考えること

グラフや表などのデータを読み取って、考えを書いたり、伝え合ったりする学習に意識的に取り組むことや、単純な計算問題だけでなく、文章を読み取って式を立て、答えを導き出す問題の習熟を図ることが必要だということが分かってきました。この結果を参考に学習を進めていこうと思います。

しかし、これらは全体的な傾向の一部であり、課題は個人差があります。配付した個票を参考に、家庭学習への取り組み方についてもご家庭で話し合ってみてください。学校でも、この結果を踏まえ、日々の授業改善に努めてまいります。

大切な家庭の働きかけ

以前に文部科学省のホームページを見ていたら、学力調査の結果分析から分かってきたこととして、以下のような保護者の働きかけがある子供の学力は高い傾向があると紹介されていました。これが全てというわけではなく、あくまでも一例とのことですが、参考にしてみてください。

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- テレビ ビデオ DVDを見る時間などのルールを決めている。
- ゲーム（スマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど、人の役に立つ人間になることを重視している。（文部科学省HPより）

